



社会福祉法人 長野県社会福祉協議会

「福祉だより信州」は共同募金の
配分金で発行されています。



昭和27年1月11日
第三種郵便物認可第788号
令和3年8月25日発行
(毎月25日発行)

福祉だより 信州



社会福祉 HERO'S vol.14

詳しくは巻末をご覧ください。



特集

日頃のつながりから地域の福祉力を高める
<7P> 令和3年8月豪雨 長野県社協 災害福祉本部報告

No.

788

2021 9月号



「ともに創る」を実践する

実践目標 ③ 身近な地域で共生社会の実現を目指して



日頃のつながりから地域の福祉力を高める



2019年2月に宮田村で開催された「地域のお宝大発表会」。村内にある様々な支え合い活動から、これからの自分たちの暮らし方や、地域づくりを考えることを目的に開催しています。

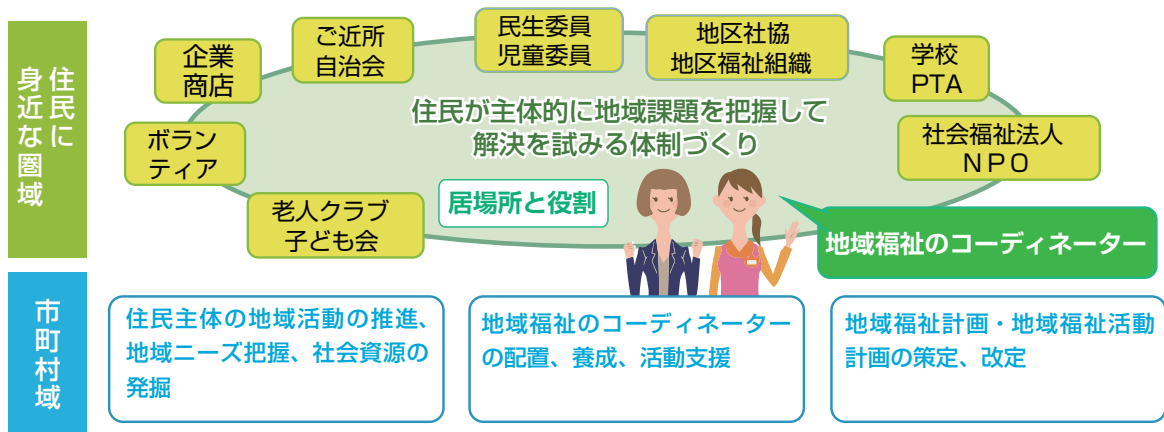
一人ひとりの個性を尊重する
居場所と誰もが活躍できる
役割をご近所福祉で実践

地域が持つ魅力を最大限に引き出し、様々な課題に直面している地域そのものを元気にしていこうという取組が各地で展開されています。地域共生社会を創っていくためには、地域住民が自分の身近な地域にどんな人が暮らし、どんな地域生活課題があるか、自分たちが課題解決のために何ができるかに関心を持ち、地域の支え合いの輪に加わることが大切です。

**地域福祉のコーディネーターの機能
住民が主体的に地域課題を
把握して解決を試みる体制づくり**

また、こうした住民同士の支え合いによる地域福祉活動を進めていくためには、地域福祉を推進するコーディネーターの役割が重要になります。今、地域で取り組まれている活動を発掘し、評価して広げていくことで、住民の生活課題への気づきや見守り、地域での支え合いの力を強めて、新たな生活課題の予防へとつながります。地域住民のニーズを把握し、支援が必要な人に寄り添い、関係機関へのつなぎや、住民が主体的に課題解決を行う際の資源開発等が求められます。

行政や社協、福祉・介護事業所、社会教育分野など、様々な機関で活躍する住民参加を進めるコーディネーターの養成や連携の場づくりに、官民共同の取組が重要になります。



人とのつながりは地域のお宝

地域福祉のコーディネーターが発見・発信！

上伊那郡宮田村の取組

お互いの顔が見える村で 地域の支え合いづくり

上伊那郡宮田村は人口約9000人、小学校、中学校が各1校というお互いの顔が見える村です。行政と社協が連携し、平成27年から介護保険の生活支援体制整備事業を活用して地域のお宝探しを継続的に行い、「地域の支え合いづくり」に取り組んでいます。

その中心として重要な役割を担っているのは地域福祉のコーディネーター（宮田村では地域支え合い推進員）です。

地域のお宝大発表会と むらのお宝通信みやくみやく

コーディネーターは、何気ない暮らしの中にある人とのつながりや集まり、活動や価値のある「地域のお宝」として、住民とともに発見し、その活動にある支え合いの意味を分かりやすく伝えていきます。

また、こうした活動を住民に伝えていくため「地域のお宝大発表会」の開催や、「むらのお宝通信みやくみやく」を定期発行して、人とのつながりの大切さを発信しています。



むらのお宝通信みやくみやく

地域のつながり、支え合いの 大切さを住民に伝えたい

「さまざまな人とのつながりや支え合いによって、見守ったり見守られたりしながら、安心して暮らせることを地域の皆さんに知ってもらいたい」コーディネーターの黒沢香菜さん（宮田村社協）は、お宝からお宝をつないでもらうようなイメージで地域にアプローチをしていると話します。

「日常のお付き合いの話やその地区の活動について何っていくと、昔のつながりや地域の関係も知ることができ、課題も浮かび上がります。なにか困りごとはありませんか」と訪ねてもすぐには出てきませんが、取材の中で個別相談を受ける場合もあり、相談機関等につなげるようにしています」



20年前から続く毎日午後3時のおしゃべり

地域住民の背中を押すのが 行政と専門職の役割

生活支援体制整備事業を進めるにあたり、行政から社協等に丸投げするのではなく、現場職員も含めみんなで意見を出し合うことから取り組み始めた宮田村福祉課の山下孝一

さんは振り返ります。

「大切なのは、なぜこの事業を行うのか、何を目指しているのかを明確にし、関わる人たちが皆が理解することです。みんなで集まって話し合いを重ねていく中で、やるべきことが見えてきました」



信号待ちの車の目を楽しませる交差点の花壇作り。25年間継続

それには組織や仕組みを改めて作るのではなく、コーディネーターを中心にすでに地域にあるものを見つめることから始めました。そして、それぞれの地区の公民館に人が集まる機会を設けることを提案しました。

「人が集まれば、そこに人のつながりが生まれます。地域住民が集まり、地域課題を見つけ、課題解決に向けた取組を探し出せるように、住民の背中を押すことが行政を含め、コーディネーターの役割です」

細かな情報とニーズを捉える 感性と企画力が大切

山下さんは、コーディネーターにニーズを捉える感性と企画力を期待しています。

「何気ない日常生活を切り取り、よくこんな素敵なものを見つけたねと、ハッとするとつながりや活動を見つけることができれば、それが刺激になり、次の私たちの取組のヒントにつながります。協議体をつくるというよりも、普段のつながりの中で、住民の声やニーズから地域力を押し量って、足りないものを提案する働きかけが自然かなと思って

います」

コロナ禍で見えてきた 将来につながるヒント

「コロナ禍による地域活動の自粛や制限がある中、今できることとして、コロナ禍の支え合いをテーマに工夫している活動や休止中の思いなどを再取材し、情報紙で紹介しました」と黒沢さんは話します。

「人と会えなくなったからこそ、みんながつながりを強く意識していることを感じます。地域の人と人とのつながりの大切さを伝えていきたいです」

向こう三軒両隣の地域に

山下さんは、「医療体制の脆弱性が見えてきたように、課題や本質を知ることができました。今はその解決に向けたヒントを收穫し、将来を見据えて次につなげていく機会と考えています」と、何より知ることの大切さを実感していると語ります。

「普段お隣さんを見たら電気がついていない」「元気かな」と自然に気かけ合い、助け合える「向こう三軒両隣」の関係、そんな地域を作っていきたいです。それが何より大事なことだということをこれからも発信していきます」



「プレイセンターにじのたね」
親子が共に学び成長できる場作り

支え、支えられる地域をつくりたい みんなの健康と安心を願うふれあいサロン

上田市豊殿地区の取組

地域みんなの元気の源 ふれあいサロン「ひなたぼっこ」

上田市豊殿地区は、安心して暮らせるまちづくりを目指して20年以上前から住民主体による様々な地域活動を進めています。

その拠点となるのが2018年7月にオープンした「ふれあいサロン hinata bocco」とよさと(愛称ひなたぼっこ)です。食堂のほか、認知症や福祉についての自主勉強会「安心」の地域づくりセミナー、認知症高齢者の交流相談会(オンラインサロン)、こども食堂等を開催し、多世代が交流しています。

地域のボランティアや住民組織などをつくる「豊殿ふれあい



ふれあいサロン「ひなたぼっこ」(右の棟)。運営事務局がある JA 長野会の福祉施設「豊殿の家」と農産物直売所が隣接



食堂の日替わりランチセットは一人暮らしの方の食生活の改善にも役立っています。サイフォンで淹れるコーヒーも大好評



神林芳久さんはまちづくり協議会の立ち上げ時からの主要メンバー

サロン運営委員会が運営し、現在は約40人のボランティアが活動しています。

認知症になっても 自分らしく暮らせる地域に

「地域の皆さん方が気軽に立ち寄れて、元気になっていく、支え合い助け合う地域づくりの拠点です。認知症になるのはやむを得ないことです。けれどもそれを当たり前として本人も周りも受け止める地域、お互いに支え、支えられる地域をつくりたいというのがこのサロンの願いです」と運営委員長神林芳久さんは語ります。

当初豊殿地区には地域ごとに16の住民組織があり、医療や福祉関連の施設を誘致しようと統合し、活動が始まりました。招致運動の結果、診療所と特別養護老人ホームの開設につながり、組織は「豊殿まちづくり協議会」に発展しました。その間にも、誘致

活動に関わった住民が、「施設ができただけでは住民の健康や福祉は守れない」と、認知症や福祉について自主勉強会を開講。それが今も続く「安心」の地域づくりセミナーです。

セミナーの積み重ねが 地域を支える大きな力に

豊殿地区の大きな財産の一つがこの「安心」の地域づくりセミナーです。当初セミナー受講者の多くは自分の健康と安心のために参加していました。しかし「学んだだけで終わらせたくない。身につけた知識を地域に還元しよう」と修了生が同窓会を結成しました。学習を続けながら同施設を支えるボランティアや地域づくり活動に関わるなど、学びを活動につなげていきました。受講した人たちのつながりが広がり、大きな役割を果たしています。サロンができたことにより、同窓会の活動が具体的にできるようになり、活動に参画する仲間を増やしています。

コロナ禍により現在「ひなたぼっこ」は休業中ですが、週2回はスタッフの安否確認を兼ねて顔合わせをしています。

10月の地域まめったいサミットでは、地域の皆さん方も勉強できるよい機会です。地域の良さを見直し、多くのみなさんにも元気を県内中へ発信していきたいと思っています。



まめったいサミットの実行委員会

information

第11回 地域まめったいサミット in 豊殿

地域の宝ものを知って、創って、伝えて

2021年 10月16日(土) 10:00 ~ 16:00

上田市豊殿地域自治センター (上田市芳田1261-2)

豊殿地区のお宝めぐり

住民同士の支え合いや暮らしの知恵を学び、まめったい(元気な)地域づくりを発信!

フィールドワーク「豊殿のお宝を発見しよう」
講義(動画)「今日における継承の意味」

講師 内山節さん
立教大学客員教授、NPO 法人森づくりフォーラム代表理事
グループワーク「みんなで考える次世代への継承」
コーディネーター 内山二郎さん

- 参加料/1,000円(昼食代込み) ※オンラインは無料
- 申し込みフォーム
<https://forms.gle/HvSbsCWCFPXW1v3J7>

【問い合わせ】
まちづくりボランティアセンター
TEL : 026-226-1882
メール : vcenter@nsyakyo.or.jp



申込QRコード



稲倉の棚田 日本の棚田百選に認定。保全委員会を中心に保存活動が行われています



特別養護老人ホームローマンうえだ住民の誘致運動によって開設した地域密着型施設。セミナー修了生もボランティアに



クラインガルテン 眺望の郷 岩清水

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和3年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術 入院中の手術		65,000円	
	保険金 外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷		×	○
	賠償責任保険金(対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料			350円	500円

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは
コチラ
（ふくしの保険ホームページ）



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

（傷害保険）

（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
 受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJ20-12302 2020.12.28 作成)

令和3年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために!

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

1 基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

保険期間1年

▶ 年額保険料(掛金)	
定員	基本補償(A型)
補償基本A型	1~50名 35,000~61,460円
	51~100名 68,270~97,000円
	100名以降1名~10名増ごと 1,500円
付見舞費用B型	基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円



です。 充実した補償と 割安な保険料

スケールメリットを活かした

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 施設職員の補償

プラン4 社会福祉法人役員等の補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
 受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

(SJ20-12299 2020.12.28 作成)



「緊急就労支援事業」を実施しています。

期間: 令和4年3月31日まで **対象:** 新型コロナウイルス感染症の影響による減収・失業者等

新型コロナウイルス感染症の影響により減収、失業された方へ、就労に向けた取り組みをサポートする事業です。相談窓口を通して雇用した方に支払った賃金の一部を事業主に助成する「直接雇用型」と、就労の体験研修をしたご本人に助成する「体験研修型」があります。

就職に困ってしまった...

失業等でお困りの方へ

減収や失業などのお困りで相談窓口※に登録された方に地域での雇用や体験研修の機会を提供します。ぜひこの事業を活用して新たな就労を目指しませんか。

※生活就労支援センター(まいさぼ)、県福祉人材センター、ライフサポートセンターながの



体験研修型

〈助成内容〉

1ヵ月以内の就労体験を事業所で行うことができます。一人当たり3回まで可能です。

- 1日6時間、計60時間までの体験可能
- 1時間あたり800円 ● 1回の上限48,000円

ご本人へ助成します。

地域の事業者の方へ

新型コロナウイルス感染の影響で失業し、生活に困っている方がいます。人材確保のきっかけに、また緊急時の地域貢献として、ぜひご協力ください。



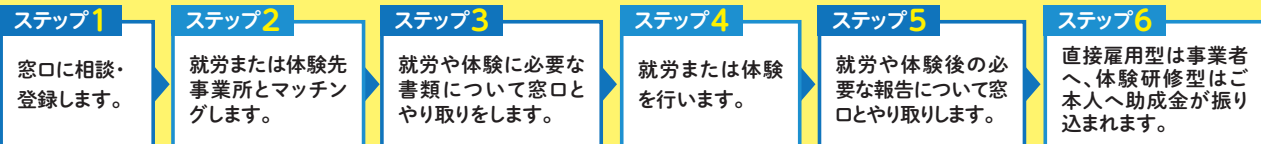
直接雇用型

〈助成内容〉

- 時給900円以上で2ヵ月以上の雇用が対象です
- 期間内の雇用者への賃金の2/3、上限192,000円

事業者へ助成をします。

● 支援の流れ



窓口・お問合せ

あなたのまちの「生活就労支援センターまいさぼ」



オンライン 福祉の職場説明会

長野県内の福祉・介護・保育・看護関係の求人事業所の紹介映像や職員からのメッセージを掲載しています。

福祉人材センター職員も参加しますので、安心してご参加ください

期間: 令和4年3月31日まで実施中

「信州福祉・介護のひろば」特設サイトへ



←こちらのQRコードからアクセスできます

「Zoom」ミーティングツールを使って担当者に質問しよう!

詳しい事業内容や採用条件について知りたい場合、オンラインで担当者から説明を受けることができます。詳細については下記までお問い合わせください。



お問合せ

長野県社協 福祉人材センター

TEL: 026-226-7330

E-mail: jinzai@nsyakyo.or.jp

令和3年8月23日現在

令和3年8月豪雨 長野県社協 災害福祉支援本部 報告

8月13日から県内各地で降り続いた大雨により、岡谷市で土石流が発生し3名が亡くなるなど大きな被害が発生しました。岡谷市、諏訪市、辰野町、木曾町、上松町、王滝村に災害救助法が適用されています。

長野県社協では、15日(日)に災害福祉支援本部を設置し、災害ボランティア活動の支援等に取り組んでいます。各社協では、被災者の支援ニーズを積極的に把握し、市内在住、在勤者に限定してボランティアを募集するなど必要な支援を実施しています。

8月22日(日)までの実績

活動件数：101件 / ボランティア数：のべ495人

8/17
~8/22

諏訪市災害支えあいボランティアセンター

活動件数 66件 ボランティア 197人

諏訪市では、諏訪湖に流入する河川の内水氾濫等により床上18件、床下235件の被害が広がりました。

諏訪市社協、諏訪防災ネットワーク、諏訪圏青年会議所、諏訪湖ライオンズクラブ等が協働で災害ボランティアセンターを設置し、家屋の清掃や浸水した家財の運び出し等を支援した他、市民ボランティアにより、被災した地域を一軒一軒声をかけて回る支えあい活動が行われました。23日(月)からは、「支えあいボランティアセンター」に移行して、引き続ききめ細やかなニーズ把握に努めています。



8/19
~8/22

辰野町社会福祉協議会

活動件数 27件 ボランティア 259人

辰野町では、土石流と河川の氾濫により、半壊2件、一部損壊3件、床下35件の被害が発生。辰野町社協では、災害ボランティアを募集して、4地区で支援ニーズに対応しました。

土砂が流出した被災住宅では、30名の土嚢リレーで排出作業を実施。また、大量の土砂が流入した世帯では、「日本笑顔プロジェクト」の小型重機が活躍しました。

辰野町と辰野町社協では23日以降も順次ボランティアニーズを受付け、必要な支援を調整していく予定です。



2団体に「ボランティア活動応援助成」を初適用!

令和元年東日本台風災害を機に長野県が独自に設置した「大規模災害ボランティア活動応援事業」が、今回初めて適用され、2団体の交通費と「軽トラ隊」「小型重機」の燃料費の一部が助成されます。



諏訪市で活躍した
諏訪圏青年会議所の「軽トラ隊」



辰野町で活躍した
「日本笑顔プロジェクト(小布施町)」

● 各地のボランティア活動の状況 (8月23日(日)現在 県社協把握分)

岡谷市	土石流被災地域は現在も避難指示が発令されており、市と専門業者が対応します。市社協は全市的な支援ニーズを調査し、各地区の互助による片付けの進展を確認、支援ニーズがある場合に備えてボランティア等の調整を準備しています。
下諏訪町	【活動件数8件 ボランティア数のべ39人】 床下浸水24件の被害があり、住民の支援ニーズにあわせて、随時ボランティアによる支援を調整しています。
木曾町	被災地区住民の助けあい活動を支援するため、高圧洗浄機の貸し出しを行いながらニーズを募集。28日(土)、29日(日)の週末に支援活動を予定しています。



浸水被害のあった床下を丁寧に清掃
(下諏訪町社協、諏訪圏青年会議所等)

お問い合わせ先

長野県社会福祉協議会 総務企画部

TEL.026-228-4244 / FAX.026-228-0130

ライフステージに応じた 働きやすい就労環境を



社会福祉法人
サン・ビジョンHP

社会福祉法人サン・ビジョン グレイスフル箕輪 (箕輪町)



育児を機に、周囲の配慮で特養から夜勤のないデイサービスに異動した桐生さん



「子育て中」の職員が多く、お互いに支え合いながら働ける笑顔があふれる職場



WEBでも
ご覧になれます



信州福祉事業所認証・評価制度制度については「信州福祉・介護のひろば」HPをご覧ください。

長 野県内外で38施設を展開し、*ノーリフティングポリシーや科学的介護情報システム(HERO'S)と連動したスマホ端末による介護記録の活用など、質の高いケアと就労環境の整備に努めている(福)サン・ビジョン。職員の仕事と育児の両立支援のため産休・育休制度に力を入れ、託児所付き施設の運営や認定こども園の併設も行っていきます。「グレイスフル箕輪」の桐生奈津美さんも今年4月に約3年間の産休・育休から復職しました。

小学生の頃、曾祖父父母が利用していたショートステイで介護士の明るさや優しさに触れ、介護職を目指すようになった桐生さん。高校の進路でも介護系の学校への進学を希望したものの、担任教員から「介護は大変だから」と生活相談員を勧められ、短大で福祉を学びました。しかし、やはり介護現場での仕事が好きだと実感し、介護職として就職。3年目にはサン・ビジョンの資格取得支援制度を活用し、勉強会や費用の全額支給などのサポートを受けて介護福祉士資格を取得

しました。2019・20年には第子二子を経て出産したため、連続して産休・育休制度を利用。第子が2歳半になるまで取得でき助かりました。夢だった介護の仕事が続けられ、利用者さんと楽しく話して感謝の言葉もいただける仕事に日々やりがいを感じています」と話します。

サン・ビジョンは、優秀な介護人材確保のため「やりがいのある仕事」、介護職の魅力を発信するとともに、働きやすい職場環境を整える必要があると考えています。長野県の認証制度である「信州ふくにん」には職場環境改善や人材育成の達成目標が示されており、働きやすい職場を広くアピールするため認証を取得しています。キャリアパス制度は学歴や年功序列型ではなく、能力と意欲に重点を置いています。男性の育児休業取得推進や、出産などで離職した職員の再雇用制度も積極的に導入。桐生さんも「いずれ子育てが落ち着いたら、再度就職にもチャレンジしたい」と目標を語ってくれました。

*ノーリフティングポリシーとは、押す、引く、持ち上げる、ねじる運ぶを人力で行わないこと

●ご感想、お問合せ、
掲載希望等は下記へ
お寄せください。

長野県社会福祉協議会
総務企画部 企画グループ
TEL 026-228-4244
FAX 026-228-0130
E-mail kikaku@nsyakyo.or.jp

webでもご覧になれます

長野県社会福祉協議会 福祉・介護べんり帖

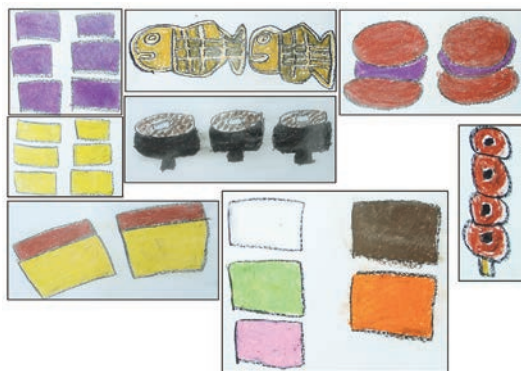


長野県福祉研修
実施団体
きやりあねっと

信州福祉・
介護のひろば



ざわめくアート



『和菓子あれこれ』 クレヨン 画用紙

作者:興 淳之介(こしじゅんのすけ) 23歳
松本市在住

アートワーク「絵のジカン」で、いつの間にか書かれていたシンプルな四角にクレヨンできちりと色が塗りこめられている。これは何?と聞くと『羊羹だよ。』と言う。こっちの黄色のは?と聞くと『芋羊羹だよ。』『カステラだよ』『ウイロウだよ』『たい焼きだよ』『どら焼きだよ』『お汁粉だよ』...と教えてくれる。最後にリクエストに応じてお団子も描いてくれた。何事にもきっちりとしている興君だ。強い筆圧で塗られた羊羹を見ていると、写実的な絵ではないのに、こってりと甘いうまそうなリアルな羊羹が思い浮かんでくる。シンプルな構図だからこそ五感を刺激する想像を掻き立てる。和菓子屋さんへ寄って、買って帰って、羊羹にかぶりつきたくなる誘惑に駆られてしまった。

(ながのアートミーティング 取材)